

かんない、いかない？

- 社会実験「大通り公園に、よりみちしよう。」
- 関内えきちか広場「親子で広場でDIY」ワークショップ
- 社会実験「みっける、みなぶん」
- 関内えきちか未来セッション





みんなで まちをたのしもう。

変わりゆくまちの中で
屋外で居心地良く過ごしたい
安心してのんびり過ごせたらいいな
いつでもスポーツができれば楽しそう
どんなことができれば楽しいだろうか

一緒に関内のまちをたのしむアイデア
考えてみませんか。

関内えきちかの公共空間のこれから



01. 大通り公園

かつての運河、吉田川を埋め立ててできた、地下には市営地下鉄ブルーラインが通る公園。木々が立ち並び、海からの風が清々しく吹き抜ける。近接地には、2023年に関東学院大学の新キャンパスが開設予定。



02. 関内えきちか広場

関内駅からほど近く、尾上町通りに面する人工芝が敷かれた広場。旧横浜市庁舎の第二駐車場として使われていた。現在、広場を含めたエリアで再開発が検討されている。



03. みなぶん

みなと大通り及び横浜文化体育館周辺道路(みなぶん)は、安全で快適な歩行者ネットワークの強化・拡充を図り、関内側エリアと関外側エリアのアクセス強化に向けて、歩道拡幅等の検討が進められている道路。

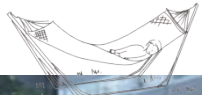
関内駅周辺では、旧市庁舎街区活用事業や教育文化センター跡地活用事業、横浜文化体育館再整備事業など、複数の事業が進められています。

これらの事業が関内・関外地区の新たな魅力を生み出す拠点となるように取り組むこととあわせて、地域の方々や事業者と連携して道路や公園といった公共空間の活用を進めることで来街者の回遊を促し、新たな拠点整備による賑わいが地区全体に広がっていくように取り組んでいきます。



まちの中で
思い思いに
過ごせる居場所。

社会実験「大通り公園に、よりみちしよう。」
2021.12.4(sat)-12.12(sun)



公園でこんなこと
やってみたいを
実践しました！



大通り公園(1区・2区)において
2021年12月4日~12日の9日間
にわたる社会実験を行いました。
キッチンカーやワークショップなど、ひと休みできる空間や賑わい空間を大通り公園に創出し、これからの関内駅周辺エリアのパブリックスペースの使い方を考えるきっかけ作りとなりました。

公園でアートをたのしむ。

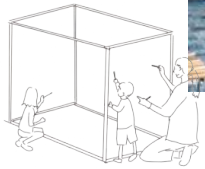


ワークショップ参加者同士での新たな出会いがあったり。



ちょっとした仕掛けで日常が素敵な空間に。

散歩の途中で偶然アートに出会う。



色々な個性が公園を賑やかにしてくれる。



ふらっと遊びにきて、気軽に誰でも楽しめる場所。



大勢で集まって、盛りあがったり。



プロ選手の技を間近で体感。



バスケットコートが出現!!
散歩のついでにバスケ!



新たな楽しみを発見!
みんなで楽しむ。



今までやったことのなかったスポーツを体験してみたり。



気軽に色々なスポーツを楽しめる空間がある。

公園でスポーツをたのしむ。



一日を通して
あたたかい
雰囲気のある公園。

子どもの遊び場と親が
くつろぐことのできる空間。



子どもたちに
大人気の玉コロガン



芝生の上が多世代の
集まる賑やかな居場所に。



公園で家族団らん。
ランチはキッチンカーのテイクアウト。



ペットの散歩ついでに
寄り道しておしゃべり。



昼間とは違った風景の広がる公園。



夜も楽しめる
居場所づくり。



あかりを囲んで
夜の公園に
寄り道してみる。

みんなの作品が
公園を明るく灯す。



大通り公園社会実験 コンテンツ企画・協力
Enabling City プロジェクトまちづくり分科会 / FOOD Communication Life / 一般財団法人カルチュラルライツ /
関東学院大学 / 株式会社電通 / 中区スポーツ協会 / 似て非ワークス / 三井不動産株式会社 / 横浜市野外活動指導者協議会 /
株式会社山手総合計画研究所 / 株式会社横浜エクセレンス / 横浜国立大学 / 公益財団法人横浜市スポーツ協会 /
株式会社横浜スタジアム / 横浜スポーツアンドカルチャークラブ (Y.S.C.C. 横浜) / 横浜武道館 / 株式会社横浜フリース
スポーツクラブ (横浜 FC) / 横浜まちづくりラボ有志グループ (50音順)



『親子で広場でDIY』ワークショップ
2021.10.23(sat)-10.24(sun) 関内えきちか広場にて



まちなかで、ものづくりを
通した新たな出会い。

まちなかで広々と
運動会をしてみたり、
ものづくりやお絵かきをしてみたり。



普段は触れ合うことの
ない人たちが集まって、
楽しい居場所をつくる。



関内えきちか広場で、「親子で広場でDIY」ワークショップを開催しました。
関東学院大学酒谷研究室の学生によるレクチャーを受けながら、
ご参加いただいた方皆さんで屋外用家具を製作しました。
屋外空間により親しんでいただくため、マスキングテープを使用して、完成
した家具への装飾や、装飾した家具を使って期間限定の場づくりを行いました。



社会実験「みつける、みなぶん」 2020.11.9(mon)-11.30(mon)



関内・関外をつなぐ、
横浜の発展とともに歩むみちの
これからを考えました。



関内・関外地区の回遊性向上に向け、
「みなと大通り及び横浜文化体育館周辺道路」について、道路空間の再構築や沿道と歩道を一体的に使うことにより、賑わいと魅力ある道路空間の創出に向けた検討を行っています。
2020年11月9日～30日に実施した社会実験「みつける、みなぶん」では、車道の一部を規制し、歩道を広げるなどの実験を行い、人や車の流れや沿道の利活用について検証を行いました。



井戸端会議がはじまったり。



1人でゆっくりしたり。

みなぶんのこんな使い方
みつけた！



コーヒーを
テイクアウトして、
のんびり過ごす。



居心地がよく、歩きたくなる
まちなかづくり。



畳でお茶会を
開いても良いかも！



同僚とランチ会！



屋外で飲み物を飲んだり。
家族で楽しむ。



通りがかりに
イベントに参加！



気持ち良い日差し
のもとでくつろぐ。



関内えきちか未来セッション

2021.11.22(mon) 横浜武道館にて

第1部「まちづくりの現在地とこれからの関内」

第2部「大通り公園活用実験から考える都心部のパブリックスペース未来会議」

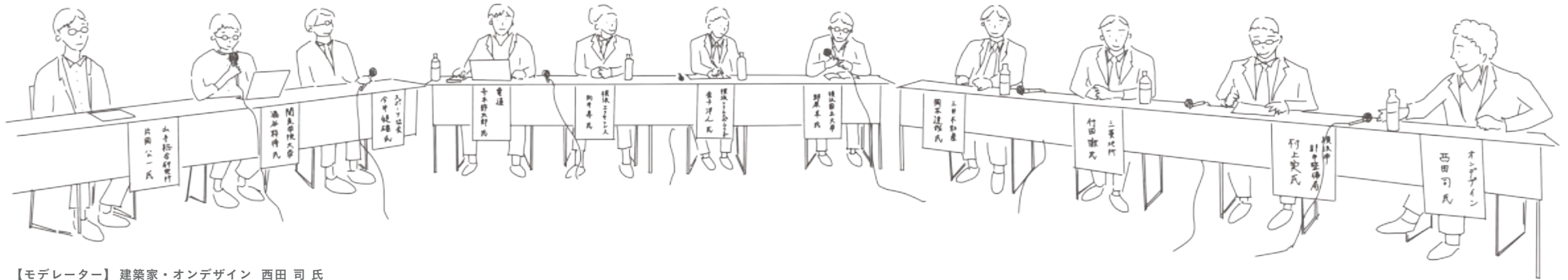
関内駅周辺エリアに関わる方々を中心にゲストをお招きし、横浜武道館からオンライン配信という形で大通り公園の社会実験「大通り公園に、よりみちしよう。」の開催に先駆けて、各種レクチャーとトークセッションを実施しました。

前半の第1部では、「まちづくりの現在地とこれからの関内」として、関内駅周辺エリアのまちづくりの経緯や、日本中の公共空間活用の事例を紹介いただきました。

後半の第2部では、「大通り公園活用社会実験から考える都心部のパブリックスペース未来会議」として、大通り公園活用社会実験での取り組みの紹介と、関内駅周辺エリアのパブリックスペースの未来のあり方を考えるディスカッションを展開しました。

ONLINE TALK EVENT

KANNAL EKICHIKA MIRAI PROJECT



【モデレーター】 建築家・オンデザイン 西田 司氏

Q. 関内の魅力や、これから公共空間を活用していくことに対する課題についてお聞かせください。

横浜文化体育館再整備事業の二つのアリーナと大通り公園は近いので、大通り公園でスポーツを起点として、催しを行うことにより、エリア全体での盛り上がりを図ってきたい。

株式会社電通コンテンツビジネス・デザイン・センターライブ・エンタテインメント事業開発部スーパーバイザー

寺木 節太郎氏

関内エリアに根付いていくことで、夏は野球、冬はバスケットボールで、日本の中でも一年中プロスポーツが楽しめる希少なエリアにできるように頑張っていきたい。

株式会社横浜エクセレンス代表取締役社長

向井 昇氏

スタジアムとアリーナがこれだけ集まっているというのは、日本では他にはないのではと考えている。連携することで魅力的なコンテンツができる可能性が高いと思う。

株式会社横浜フリースポーツクラブファシリテイマナジメント部 部長

金子 洋之氏

横浜のイメージはビジネス世代、港町というワードに縛られてきた。これからは多様な人たちが混じって生み出す化学反応でまちが面白くなり、それが関内、横浜の魅力になると思う。

三井不動産株式会社横浜支店支店長

岡本 達哉氏

大通り公園周辺エリアの特徴と大きな魅力は、様々な属性の住人の方がいらっしゃる。その方々どう街の将来像を共有しコミュニティをつくり、活動に取り組むかがポイントになると思う。

三菱地所株式会社横浜支店支店長

竹田 徹氏

建築家・オンデザイン
西田 司氏

皆さんのお話を聞いていて、関内の魅力はすでにあるコミュニティと新しいコミュニティ、多様な人たちがごちゃ混ぜになっている状態が魅力であると気づかされました。今後も継続的に公共空間活用の議論や実際に活用するなど場を開きながら、皆さんと一緒に活動していきたいです。

Q. 今後、関内で行っていききたいパブリックスペースの活用方法や、本日のセッションの感想などお聞かせください。

国際的産学連携、観光集客、スポーツという要素がコンセプト。拠点開発される方と公共空間の担い手となる方に一緒に考えてもらいながら、市はそのつなぎ役として一緒に汗をかくていきたい。

横浜市 都市整備局
都心再生部長
村上 実氏

継続的にステップアップできるディスカッションの場を作ること、多様な住人がいる関内の「動く、住む、観光」を貫く緑の軸線である大通り公園の活かし方が求められていると思う。

株式会社山手総合計画研究所
代表取締役
片岡 公一氏

学生は学びの専門家。学びには必ず失敗が伴うが、許容されるような環境があると、意欲的な挑戦ができる。関内エリアでも積極的に活動して欲しいと思う。

関東学院大学建築・環境学部
建築・環境学科専任講師
酒谷 粹将氏

新しくできるアリーナのように大きな場がなかったため、全国大会がほとんどできなかった。今後は、大会の時に選手や応援される方が気分転換に訪れやすい公園として期待している。

横浜市スポーツ協会 総務経営局
事業戦略シニアディレクター
今井 健雄氏

『プレイスメイキングpower of 10』の概念のように、大通り公園に10個の活動が生まれ、関内の10カ所、そして境界に広がって1000個の活動へ。横浜全体の魅力に繋がっていくと良い。

横浜国立大学大学院
都市イノベーション研究院准教授
野原 卓氏

横浜市 都市整備局
都心再生部長
村上 実氏

拠点開発の次は周辺の公共空間をどう活用していくのが、これから大事になってくると考えています。地域住民、スポーツファン、学生、就業者や来街者など多くの方にとって心地よい空間となるように、関内駅周辺のエリアマネジメント活動と一緒に盛り上げていただけると嬉しいです。



関内えきちか未来プロジェクトとは・・・

関内駅周辺エリアにおいて、新たに創出される公共空間や既存の公共空間も含めて、このエリアに関わる方々が思い描く「これからの関内駅前パブリックスペースの”使い方”」を実践しながら、より良い都市空間を創出するための議論をしていくプロジェクトです。

関内えきちか
未来プロジェクト

横浜市 公共空間の活性化について

これまでの取り組みは
こちらから



主催 横浜市都市整備局都心再生課
企画・運営受託者 オンデザイン

かまない、いかない？

編集/オンデザイン

写真/川島 彩水(社会実験「大通り公園に、よしみしよう。」)

加藤甫(社会実験「みつける、みなぶん」)、オンデザインスタッフ